

KANAGAWA HOHYUH CLUB
神奈川県放友会
Newsletter



Vol. 4 No.4 OCT.. 2011
第 16 号

神奈川県放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地
ストーク伊勢佐木1番館 501号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2011年 10月 3日

市民から見た放射線被ばくの不安について

神奈川県放友会理事 早瀬 武雄

私をご教授をうけた、立命館大学名誉教授、安西 育郎先生はNHK テレビ番組の放射線被ばくの影響説明で、「遺伝的影響」・「身体的影響」そして「精神的影響」があることを述べていた。確かに、多くの人たちに確定的影響や確率的影響、自然放射線量、医療被ばく等について説明しても放射線は危険であるとの解釈から脱することが出来ず、精神的不安を受け、それが増幅してしまっている。これからの生活は放射線汚染と共存しなければならないのか不安が高まるばかりである。

6月14日の新聞報道で「放射性雲と雨で地表に」との記事が掲載されていた。日本原子力研究開発機構がまとめたものである。福島第一原子力発電所2号機の破損で放射線物質が大量に放出されたとみられる3月15日から翌16日にかけての拡散状況をコンピュータで再現した。それによると放射性物質が上空を煙のような形で流れる「放射性プルーム(放射性雲)」は、15日午前中には原発から南～南西方向に動いていたが、風向きの変化で徐々に北西側に向かうようになった。同日夕方には南下した雨雲と重なり放射性雲に含まれる放射性物質が降雨によって降下し地表面に沈着したとみられる。このように放射性プルームが東日本の多くを漂い放射線汚染を起こしたのだと考えられており、事故後に発生した水道水の汚染・野菜等の汚染・学校校庭での土中放射線量・そして牧草の放射線汚染による牛肉の放射線汚染等はその影響だと考えられる。

「ただちに健康への影響はない」、「問題ない」との専門家のコメントが出されているが、市民側の受け止め方は違っている。いくら自然放射線量が世界平均で2.4ミリシーベルト/年、インドのケララ、チェンナイ地方では9.2ミリシーベルト/年。東京-ニューヨーク航空機旅行では高度による宇宙線が増加し0.2ミリシーベルト/往復 被ばくすると報告を紹介しても、今までの生活で被ばくする線量以上のものは害があると思っっている。ましてや原発事故の被ばくは恐ろしいのである。

8月26日(金) 茅ヶ崎市は「放射線・放射能に関する市

民向け講演会」を開催した。約200名ほどの参加者があったようである。この講演会の録音を聞いたところ、講師は神奈川県衛生研究所長で同施設でのモニタリングポストでの測定値の説明やGe半導体検出器が横浜・川崎・横須賀市に各1台と衛生研究所に2台の合計5台あり衛生研究所では通常の20倍の業務が行われている等の話と「放射線物質と健康影響」、「神奈川県衛生研究所等での測定結果に基づく健康影響について」、「放射線診断と治療について」、「がんのリスクの大きさ」何倍程度大きいか「等について講演され大変貴重な話であったと感じた。

講演後の質問では、・焼却場、下水道での放射線測定を行っているのか。・汚泥、側溝での値はどうなっているのか。・土壌の測定をしているのか。・測定器を借りて測定したら家では0.3マイクロシーベルト/? 畑では1.7マイクロシーベルト/?であった。草むらほもっと多いのではないのか?・学校、幼稚園での測定はどうなっているのか。・市民の健康を守るのが行政の役割ではないか。など、市民の身近なところでの放射線被ばくが話題になり、精神的影響の拡大があらわれている。チェルノブイリ事故で影響のあった地域で住民は、今でも食料を放射線測定器で測って安全を確認しながら購入していることをテレビで報道していた。わが国でも市民の放射線被ばくの不安に対し、生活の中での放射線との共存をより深く理解してもらうことが必要である。

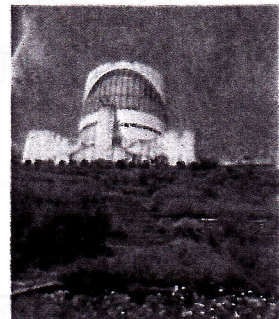
神奈川県放友会の長谷川会長は、News letter 第15号で、物理学者 寺田寅彦博士の「怖がりすぎたり、怖がらなさ過ぎるのはやさしいが、正当に怖がることは難しい。」という名言を紹介している。私たちには「正確な情報の伝達」と「生活の中での放射線」そして大変難しい「精神的な不安」を抱く人々たちへの対応が求められている。

神奈川県放射線技師会では会員の英知を結集してこの問題に取り組んでいただきたい。各団体リーダーの積極的行動を期待する。

足柄のハーブガーデンを訪ね、ビール工場見学

ハーブフェスティバルと工場見学でリフレッシュしよう！

共催：神奈川放友会
後援：(社)神奈川県放射線技師会
地域放射線技師会連絡協議会



ハーブガーデン

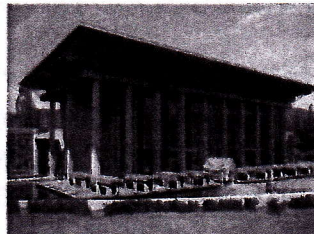
1. 日時 平成23年10月30日(日) 午前8時30分～午後3時30分
2. 観光地 松田山ハーブガーデン(西平畑公園内) ⇒ ハーブフェスティバル開催中
* セージが見頃、富士山が見え澄んだ空気を心行く迄堪能できる
見学先 アサヒビール神奈川工場、 昼食先・・・アサヒビール園神奈川・足柄店
昼食・・・自然の育 (焼き肉&海鮮盛り合わせセット)
3. 集合場所 新松田駅北口改札口(小田急小田原線) AM8:30集合
4. 行程 新松田駅前 → 松田山ハーブガーデン → アサヒビール神奈川工場
→ アサヒビール園神奈川・足柄店 → 新松田駅解散(15:30)
; 軽い歩行があるので足、腰の調子を整えておきましょう!
5. 申し込み 同封のハガキまたは神奈川放友会役員まで。先着20名で締め切ります。
6. 参加費 一人3千円(交通費は別) ◇ 放友会事務局の電話番号: 045-681-7573



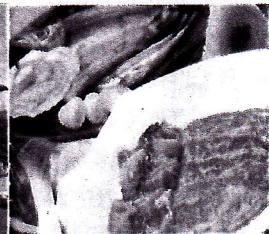
セージ



アサヒビール神奈川工場



アサヒビール園神奈川・足柄店



横浜南部地区技師会勉強会・納涼会

放友会理事 奥山 清貴

8月20日(土)に、平成23年度横浜南部地区技師会の勉強会及び納涼会が開催されました。勉強会は、山下公園近くの波止場会館1階の多目的ホールにて二つの演題で開かれました。第一部は、(株)島津製作所の田中修治氏による「FPD装置の最新アプリケーションについて」でした。また、第二部は、(株)プライアルメディカルシステムの亀澤真人氏による「医療情報アウトソーシングで知っておくべきピットフォール」でした。

特に第二部のアウトソーシングについては、最近注目されてきたクラウドシステムとして、なかなか興味深く聞かせていただきました。病院において、PACSのサーバー問題や東日本震災によって病院に保管している画像データやカルテなどが破損・流出したため、診療行為に著しい問題が発生したと聞きました。まだまだ解決しなければならない問題点はありますが、将来的な事も含めて検討しなければならない課題だと思います。

さて、納涼会は恒例の横浜スタジアムでの野球観戦(対阪神タイガース戦)です。例年は熱中症などの暑さ対策が大変でしたが今年は雨にふられて少し肌寒いぐらいでした。また、来年以降もこのイベントは行なわれると思いますので皆さんも是非参加して下さい。

あっても趣味、なくても趣味 「私と音楽との出会い」

神奈川県立循環器呼吸器病センター 小嶋 昌光

・趣味の魅力

この世の中には様々な趣味が存在します。趣味の持つ魅力は、その人をのめりこませ、徐々に上達していくと、知識も豊富になり、その趣味についていろいろなことを語るできるようになります。何かの機会にたまたま趣味の話になり、相手も同じ趣味の場合、多いに盛り上がる光景は、珍しいことではありません。趣味の話に、その人の意外な一面を見ることもあるでしょう。

ある日、長谷川会長より音楽の趣味について何か書いてみませんかといわれました。

私の第1の趣味はなんといっても音楽です。趣味が高じて、現在は3団体に所属しています。

でも、そういえば、音楽は聴くのも、楽譜を書くのも、楽器演奏をすることも大好きなのですが、今までほとんどそのことについて何かを書くことはなく、唯一、横浜南部地区放射線技師会 15 周年記念事業のときに関内ホールで 30 分ほどの演奏会をさせていただいた時の報告くらいです。

さて、私の趣味、音楽との出会いは、

・ある日楽器を持って歩いていた

それは幼稚園児のころ、片手にバイオリンを持って歩いていた。これは何も両親が英才教育のために習わせていたわけではありません。たまたま家から一番近くにあった幼稚園が「蒲田音楽学園幼稚園」だったからです。この幼稚園は園長先生がNHK交響楽団でバイオリンを弾いていた先生で、園児は必ず何か楽器を担当することになっていたようで、小さかった私は否応なくバイオリンになっていたのです。が、練習が嫌いでまともに弾いた記憶がありません。ただあるのは楽器を持って歩いていたことくらいです。

・小学生で志向が変わる

そんな私も、徐々に音楽が面白くなってきて、ただの習いごとから、自分の生活の一部になりつつありました。5年生、6年生の2年間は音楽部に入学し、打楽器を担当。

でも、相変わらずバイオリンはさほど好きではなく、あまり練習はしませんでした。小学校6年生まで続けていました。また、このころからレコードで色々な曲を聞くようになりましたが、いつだったか小学百科事典の10巻目に17cmのレコードが付録でついていて、その中のマーチ（行進曲）が大好きになり、金管楽器にあこがれていました。

・中学生で金管楽器を手にする

中学生の時は第2分野科学クラブ（記憶している人いますかね。主に天文、気象、地質、発掘など）にいたのですが、2年生の後半から吹奏楽部にも参加し、ついにあこがれのトランペットを手に入れました。この14歳の時に買ってもらったトランペットを実は今でも大切に使っています。買い替えるチャンスは何度もあったのですが、なんか愛着があり、結局買い替えずなんと今年で、40年目に突入です。

・高校生になって

高校生の時は吹奏楽部でトランペットを吹く傍ら、指揮法、編曲法を習いました。結構真面目にしかも普段の勉強より熱心に習って、それが今の私の基礎になっています。

とにかく音楽にのめりこんでいた3年間でしたね。

えっと、普通科目の勉強の成績は・・・ないしよです。

・その後 1 室内楽オーケストラに参加

二十歳の時に友達に誘われて室内楽オケに参加。

しかし、ほとんど上達しなかったバイオリンで、全く弾き方を忘れてしまっていました。ここにプロ級の方が何人かいらっしやって、レッスンも兼ねて、色々教えてもらいました。

やがて弾けるようになってくると、バイオリンも大好きになり、なんで昔嫌いだったのだろう。もっと真剣にやっとけばよかったと、かなり後悔していました。今も参加しています。

・その後 2 吹奏楽団を作る

それから、たまたま職場に楽器ができる医師や職員がいて、紹介されバンドを組むことになりました。ところが編成がばらばらで、どうしましょう？と言う感じではありましたが、まあいいかということで、4年くらい遊んでいました。

ところ、次々といろいろな人、たとえば看護師さん、職員のお子さん、職員のお友達、などが参加、いつの間にかばらばらバンドが吹奏楽っぽい編成に近づいていきます。

ある日、コンサートがしたい！という声から、無謀にもそれじゃやってみるか、とメンバーもはっきりしないのに、公会堂を先に予約してから、メンバー集めて、バンドの名前考えて。…今考えると、うまく行ったのが不思議ですが、この吹奏楽団は今でも続いています。もうかれこれ20年。私はここにも今でも参加していて、トランペットを吹いています。

・その後 3 フルオーケストラに参加

はじめて、いわゆるオーケストラに偶然入団しました。バイオリンの数が足りないということで、さそわれて。ベートーベンとかモーツァルト、ハイドンの交響曲など、

室内楽オケではやらない曲が沢山。現在正団員です。

いやー、音楽ってとってもいいですね。最高！
でも練習日が沢山で、あっ、忘れていけないのは家族サービスですね。これももちろん、ちゃんとしてますよ。全団体合わせて、年間 6 回くらいコンサートがありますし。

でも、実はなんとなく誰もコンサートに誘ったことがありません。別に理由はないんですが、アマチュアのコンサートにわざわざ来るのもねえ、時間ないし悪いかなあと思って。

皆さん、ご自分の趣味で、きつといそがしいですよ！それが、趣味の世界ですから。

最後に、演奏依頼は大歓迎です。いつでも声をかけてください。皆で喜んで馳せ参じます。

おらが町の夏祭り

横浜市立脳血管医療センター 櫻田 晃

“らっせー らっせー！”
”ラッセ ラッセ ラッセラー！”

これ、皆さんもよくご存じの青森が本場のねぶたの威勢のいい掛け声ですが、このねぶた、今や私が住む藤沢市亀井野地区においてもなくてはならない夏の風物詩となっています。今回はこのお祭りについてご紹介します。



— ことしのポスター —

このイベントは、“湘南ねぶた”として15年前から始まりました。「祭りを通して人の心を燃えさせ、健全なエネルギー発散の場を作り、人と人の心が通い合うあたたかい地域社会をつくりだす。」として、地元商店街の有志が働きかけて開催されるようになりました。村おこしの一つですが、何を隠そう、私もこの夏祭りに夫婦で第1回からねぶたの囃し手として参加しています。今年はワケありで参加していませんが、私にとっても今や夏になくはならない一大イベントとなっています。



— 今年のねぶた —

ところで、青森が本家の「ねぶた」ですが、青森市の中心街で毎年8月初旬に開催され、毎年延べ300万人以上の観光客が訪れるとされる東北三大祭りの一つとして有名です。1980年には国の重要無形民俗文化財に指定されています。その起源については諸説あるようですが、インターネットで調べたところ、次のように記されていましたのでご紹介します。

「以前、起源としてよく知られていたのは、のちに征夷大將軍となる坂上田村麻呂が陸奥国の蝦夷征討（三十八年戦争・第3期）の戦場において敵を油断させておびき寄せるために大燈籠・笛・太鼓ではやし立てたことを由来とするものである。このため、青森ねぶた祭りの最優秀団体に与えられる賞として1962年に「田村磨賞」が制定された（現在では「ねぶた大賞」と名称変更されている。しかし、田村麻呂が現在青森県のほかで征討活動をしたとは考えられず、ねぶたの起源とされたものも田村麻呂伝説の1つと見られる。現在では、日本全国にある土着の七夕祭りや眠り流しの行事（禊祓い）が変化したものとするのが主流である。」

と書かれていました。

いわゆる「みそぎ」に由来するという説が現在では有力とのこと。 「みそぎ」とは、神道において禁忌とされている罪や穢れ（けがれ）を除去して心身を清める行為とされています。

さて、東日本大震災が発生した今年のテーマは、作者によれば災害に負けないとの意味を込め「不撓(ふとう)不屈」をテーマにした。」とのことでした。今年も青森市篠田町で作り、地元で実際に運行したねぶたを譲り受け、8月20日、21日と二日間、わが村の目抜き通りと国道467号線を交通規制して練り歩きました。暑かった今年も、初日は一転して涼しくなり、囃し手にとっても、見物人にとってもとてもよい天候に恵まれました。



— 横から見たねぶた —

両日も、午前10時から屋台が開店するほか、メイン会場周辺では移動ステージ(トラックの荷台です)での津軽三味線やら大道芸やら猿回しなどなど、さまざまなイベントも行われました。

そして、夕闇が迫る18時30分から、祭り気分を高揚させるかのようにねぶたばやしの演奏が始まり、19時から21時までは、いよいよ祭りのクライマックスであるねぶた運行となりました。直径1mを超える大太鼓の音が腹にひびき、単調ながら飽きない独特の節まわしの笛の音、鉦(かね)の音は、人々の耳目を集め、人々の身を躍らせます。ちなみに、二日間見物人はわが村の人口の倍以上になったとか。さて何人でしょう?それではしばらく祭りの様子を写真でお楽しみください。



— こんなねぶたも—



— ちょっとごちないにわか“はねと” —



— 楽しそうに演奏する囃し手仲間 —



— 家族連れでにぎわう出店 —

“らっせー らっせー!”

”ラッセ ラッセ ラッセラー!”

来年はたぶん太鼓をたたいて、鉦を鳴らして孫と一緒に飛び跳ねていることでしょう。機会があったらぜひ遊びに来てください。

「大井競馬観戦 そして 参戦」

放友会理事 橋口 邦紘

新潟競馬観戦参加者が少なかったため、8月14日「大井競馬ナイター観戦」に変更しました。参加者は会員5名と早瀬理事の奥様及び横浜南共済病院臨床工学士2名の計8名でした。

約束の時間に正面入り口に集合、大井競馬が誇るあの「ハイセイコウ」の銅像前で記念撮影、南共済の3名は座席指定の3号館へ、私達はバイキング形式のダイヤモンドターンと、互いにエールを送り別れました。長谷川会長、早瀬ご夫妻は初競馬、村松理事は何十年前に何回か買った事があるが初心者同然という事で競馬暦7年目の橋口が指南役に回りました。競馬の楽しみ方には「馬券は買わない」「馬券を買う」の二通りに別れますが最も高尚な人は馬券を買わない人達と言われています。然し全く買わないわけではなく、好きな馬（新場戦から目を付けていた馬）がG1等に出走する時には応援の意味で少し馬券を買います。（小生は勿論買う方です）馬券を買うと投資金額に関わらず楽しさが、2倍、3倍と膨らみます。

次に、「予想する楽しみ」があります。（これがなかなか大変で、ハズレると苦しみに変化します）予想する前に幾つか頭に入れておくべき基本があります。これが「競馬予想の基本」です。



—参加者の面々—

「競馬予想の基本」

1) レースプログラム

JRAでは、全てのレースを6階層（新場、500万円下、1000万円下、1600万円下、オープン、G級）に別けて、同じような能力馬が競走するようにレースプログラムを組んでいます。（同じような馬同士が走るということは、人気の無い馬でも展

開次第では勝ち負けになるということです）

2) 斤量設定による能力の平等化

騎手の体重は47～放1kg。武豊は年中51kgを維持。新聞の馬名の下騎手の名前横に55、57と表示されているのが斤量で、騎手は表示通りにアルミ板で調整されたベストを勝負服の下に着服します。）出走馬の能力を更に均一化するために存在するのが斤量です。格式の高いレースは、強い馬が勝つように定量で行われます。

更にJRAではギャンブル性を高めるため出走各馬の成績に見合った斤量を背負わせ、出来る限りゴール前で横一線に近くなるようなレースを望んでいます。

3) 人気馬について

人気馬の実績

A：1番人気が3着に入る確立は60%

B：1～3番人気1着になる確率は60%

C：1～3番人気1～3着を占める確立は10%以下

（この事は、60%の人気馬は順当に来るといえますが、逆に40%のレースでは何らかの理由で人気馬が消えるともいえます。特に、Cでは90%で、1～3番人気馬のどれかが消えていくこと事になり、代わりに突っ込んで来る穴馬が存在するという事です。—1日のレースに何回もあります。）

4) レース展開の予想、血統

これがなかなか難解で身に付くまで時間が掛かりますので次の機会に。

5) パドック診断

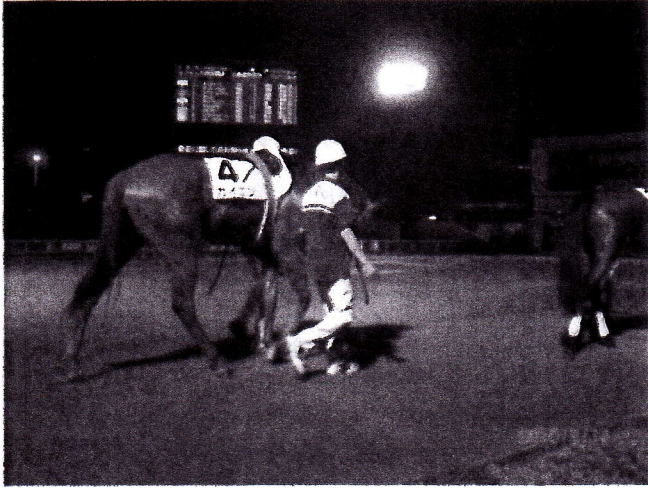
（これが一番重要で、初心者でもすぐ身に付き、的中率は60%UPし、消えて行く人気馬の代わりに突っ込んで来る穴馬を探すことができます。）

夫々のレース30分前になると、パドックで出走馬の引き回しが始まります。パドックは競馬場に行かなくともTVモニターで充分診断可能です。先ず、出走馬の馬体重に注目します、前走時より10Kg以上大幅に変化した馬、特に減少した馬は評価を下げますが500Kgの馬と460Kgの馬の15Kg—では意味合いが違いますし、15Kg増加していてもそれが前走時の体重に近ければ体調が戻ったと判断します。何れも、TV、Radioの解説者がコメントしますので参考にして下さい。馬体重の次に馬の歩様に注意します、馬は環境の変化にとっても敏感な動物で、先ず競馬場へ運ばれる場運車を見て興奮し、パドックに出て来て、その上大勢の人間を見て更に興奮しながら周回しますが、何回か周回を重ねるうちにだんだんと落ち着きます。

ここで困るのが、あんなに興奮している馬を解説者がお勧めの馬として取り上げる時です。（確かに実績からすれば上位の人気ですが…）

3着までに入るのは稀です。反対に厩務員さんに引張られてイヤイヤ歩いている様な馬、歩幅が狭くチャカチャカ歩く馬も人気があっても消しです。キョロキョロよそ見をしないで、後肢が前肢にぶつかる様に歩き更に、お尻がブリン、ブリンした馬を見つけて下さい。

プロの解説者と食い違っても恐れる事はありません、貴方のお金ですから。



—パドックでお気に入りのうまさがいし—

「実践編」

馬券を買いたい買い方が判らないという人が大勢いらっしゃいます。

買い方は簡単で、傍の人に聞けば丁寧に教えてくれます。何故ならその人達も昔は初心者だったからです。ベテランも通った道だからです。

そんな事より、馬券を買う前に必ずやっておかなければならない事は「練習、予習」です。

先ず、土曜日にスポーツ新聞を買います。(専門紙は450円高い。)

新聞は1紙で充分で、隅から隅まで読む必要はありません。上記の基本を参考に3着までに入ると思われる馬3~4頭をピックアップしてメモします。

出来るだけたくさんのレース、時間があれば3場36レースお願いします。

土、日曜日は午後からTV中継がありますから、パドックを観て修正します。

貴方が取り上げた、3~4頭についてパドック解説者のコメントもメモします。

さて、日曜日は昨日の結果が掲載されていますので昨日のメモ用紙に、馬連、枠連、(1, 2着馬)、ワイド(拡大馬券、3着まで配当が付く)の配当を記入し、3着までに入った馬の寸評を読みます。

(三連複、三連単は無視)

ここで貴方は気づくでしょう。人気馬=強い馬で無いことに。突っ込んで来る、「穴馬」がいることに。「競

馬はロマン、馬券は推理ゲーム」です。

日曜日のレースも同じ様に予想します、同じ週の土、日曜のレースを予想する事はとても重要です。何故ならレースの流れが違うからです。

この、土、日曜日を何回か経験して下さい。多いほどの中率は上がります。

間もなく秋になり、重賞、G1レースが目白押しです。練習の成果の見せ所、お金を賭けて、2倍、3倍、楽しみましょう。少額の賭けを恥じてはいけません。何故なら貴方のお金だからです。見栄を張ることはありません。此处でスポーツ紙から専門紙に切り替えます。一寸高くなりますがそれだけの価値があります。選び方はスポーツ紙と同じです、じっくり吟味して下さい。1,000円を3,000円にするのは簡単ですが、1

万円を30万円にするのは至難の業(技)です。

「競馬は 元気で長ーく、楽しむ 地上最高のスポーツ」ですから。(新聞は1週ごとに代えても結構です。貴方が一番読みやすいと思われる新聞を早く見つけことです、「読みやすさ1番で楽しさ2倍」此に限りします。)

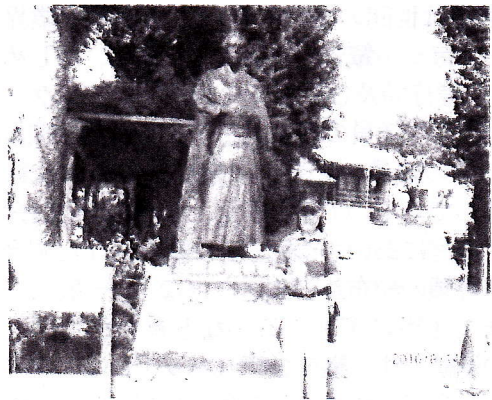
大井競馬観戦の四人の方々が異口同音に、「楽しかった。連れてきて呉れて有難う。又やりたいね。競馬は奥が深いね。」の言葉が無上の喜びとなりました。

皆様も次回の「初競馬」には是非ご参加下さい。何時でもお供します。「予習、復習」をお忘れ無く。苦あれば、楽あります。

そして馬の名前を出来るだけたくさん覚えて下さい。俄か馬主になるのです。自分の馬が走っていると思えば競馬の見方が違ってきて自然と熱が入ります。最近ユニークな名前の馬がたくさん出走します。たとえば、レントゲン、マッキーコバルト等(勝手に小生が馬主と決め密かに応援しています。)

この度の、女子サッカー選手の名前を覚えてだけでも楽しみ方が倍増したではありませんか。

「競馬に絶対はある。強い馬が勝つ。」「競馬は人気薄からやって来る。」と昔の人が言っていました。



—近くには坂本竜馬の像も—

みんなの広場

放友会歌壇

短歌(原発事故)

長谷川 武 作

- ・安全と 科学の粋の原発に 想定外の 大事故発生
- ・原発で 被曝しつつの作業者を その名知らぬが われは忘れじ
- ・わが町は チェルノブイリと なり果てし 想定外の 避難民と化す
- ・圏外の線量測定 想定外 逃げる 逃げない 堂々通り
- ・放射線 データ同封で 送り来る 実家福島 野菜一箱
- ・牛肉に セシウム汚染 確認す 飼育箱ワラ 君が犯人
- ・原発に 米野菜牛も皆 殺られてしまった もうこの地には 住めぬのかよ

短歌(津波)

- ・大揺れの 驚き波に大ツナミ 陸中沿岸 巨大傷跡
- ・生家なく うるむ目に 見ゆ土台石 津波災害 街を全滅
- ・大津波 家族亡くして恨めども 海で生き抜く ど根性
- ・避難せよ 呼び続けた声残し 職務誘導 還り来たらず
- ・泣き声で 呼び回るが 泥の海 行方不明の妻子を探す

あいはら康行県議会議員より

一近況報告一

放友会のみなさんこんにちは。今回は議員になってみて驚いたことなどについてご報告します。

所属することになった委員会は、県民企業常任委員会（県民局・企業庁の関連業務）、社会問題対策特別委員会（男女共同参画、自殺対策、子育てなど）、及び労働審議会委員です。

所属委員会が決まるや否や、担当の県職員が委員になった議員一人ひとりにあいさつ回りがありました。業界の常識は世間の非常識というのはどの業界も同じですが、毎日が驚きの連続です。まず、はじめに驚いたのが、登庁時及び昼食時の飲み物のアンケートでした。登庁時に議員の顔を見るや否や、女性職員は間違えずにその議員のデスクに議員お好みの飲料をデスクに運んでくるのです。また、本会議後には知事自ら各政党控室にあいさつ回り、口頭のみならず会合日時の確認書類の配布及び郵送などなど、一般人に対してここまで丁寧に実施するかなと首をかしげたくなることの連続です。議員徽章（バッジ）は、個人ごとにナンバリングされているため、「同じモノ」は二つとありません。紛失したら大変ですし、取り付けも取

り外しも面倒な作りに。しかし、レプリカを1,890円で購入できるから安心です。多くの議員は、本物はどこかに保管し、レプリカを付けているのではないでしようか。以上、近況報告でした。

お詫び

前号の「理事就任挨拶」のコーナーで、奥山清貴理事の名前が「奥山博貴」と誤って発行されてしまいました。大変失礼をしました。お詫びをして訂正をさせていただきます。

[編集後記]

K市立病院のRI 過剰投与問題がA新聞のトップ記事で報道された朝は驚きでした。新聞報道の論調は、過剰投与をしていた技師と、それを許していた管理体制への厳しい批判と同時に、放射性医薬品の調整を薬剤師がやらずに放射線技師が行っていることへの問題に主眼が置かれていたように思いました。長年の懸案であるこの問題がこれを機に大いに議論され、放射線技師、薬剤師、医師の業務分担がどうあるべきかについてよりよい方向性が見出されることを願ってやみません。